

---

---

アンケート集計結果  
＜民生委員・児童委員＞

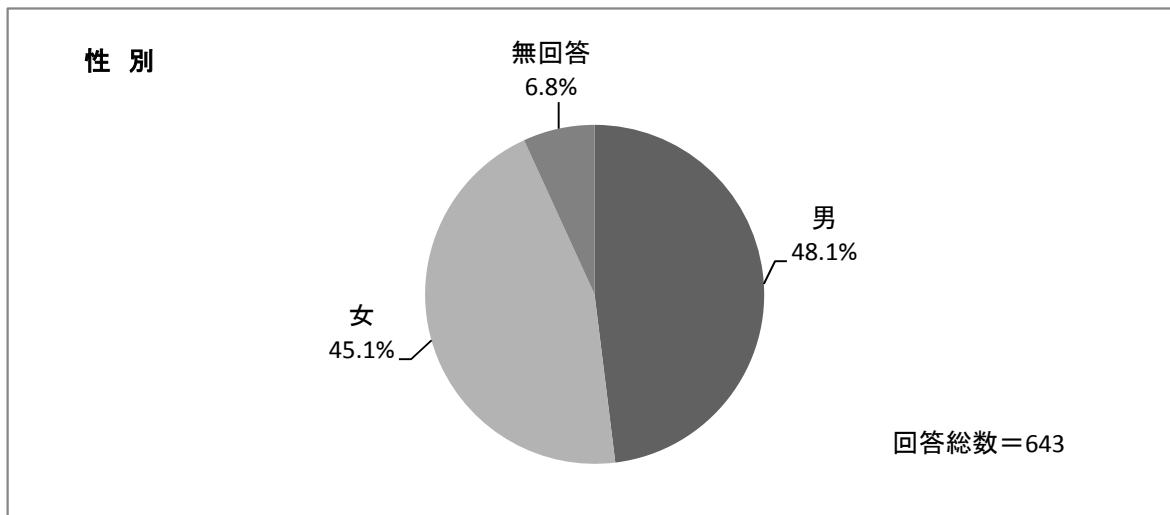
---

---

「地域福祉に関するアンケート」集計表(民生委員・児童委員)  
 回答者643人／735人 回収率87.5%

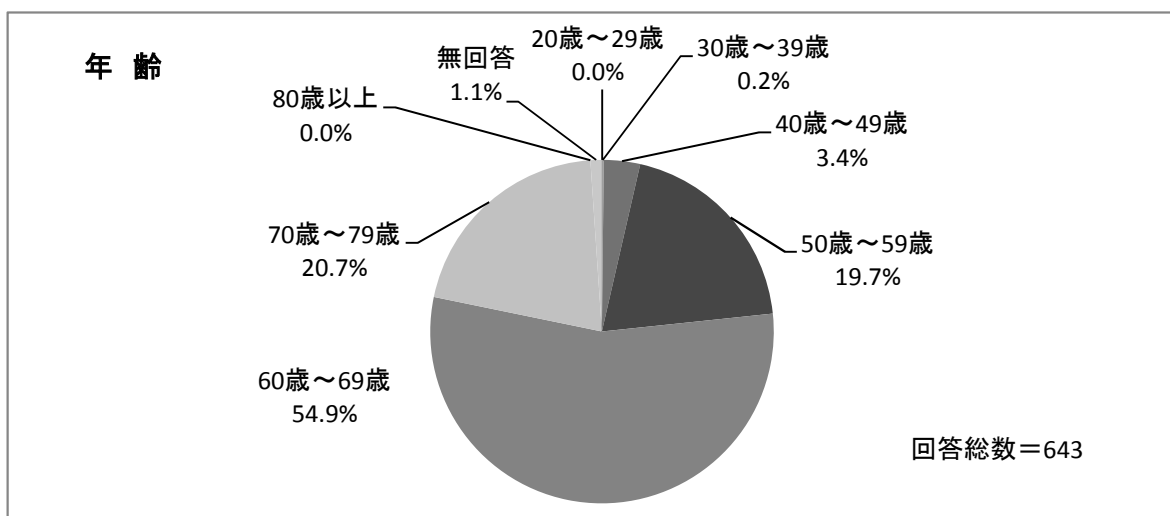
あなたの性別をお尋ねします。【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	男	309	48.1%
(2)	女	290	45.1%
	無回答	44	6.8%
	計	643	100.0%



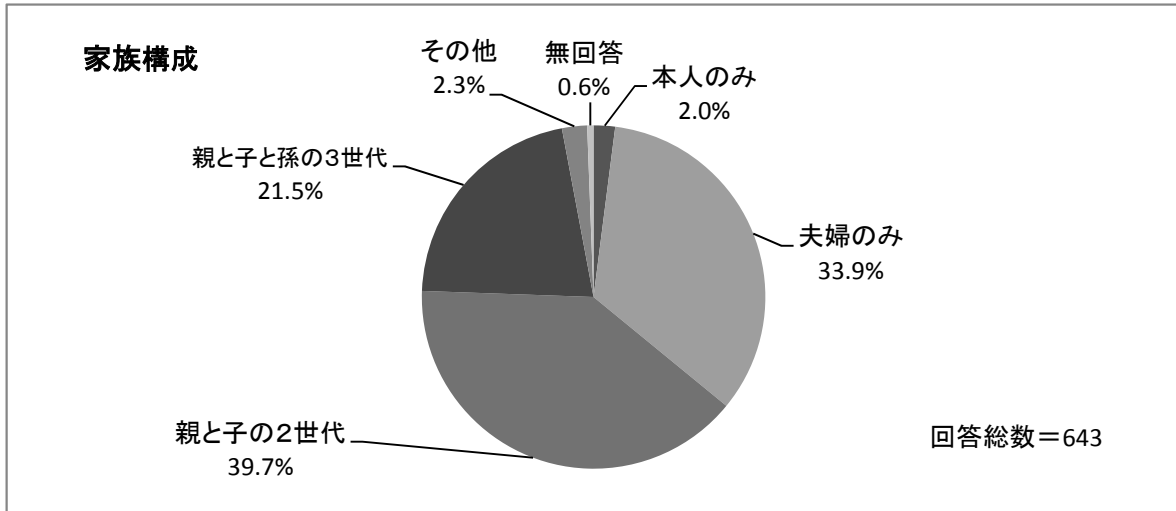
あなたの年齢をお尋ねします。【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	20歳～29歳	0	0.0%
(2)	30歳～39歳	1	0.2%
(3)	40歳～49歳	22	3.4%
(4)	50歳～59歳	127	19.7%
(5)	60歳～69歳	353	54.9%
(6)	70歳～79歳	133	20.7%
(7)	80歳以上	0	0.0%
	無回答	7	1.1%
	計	643	100.0%



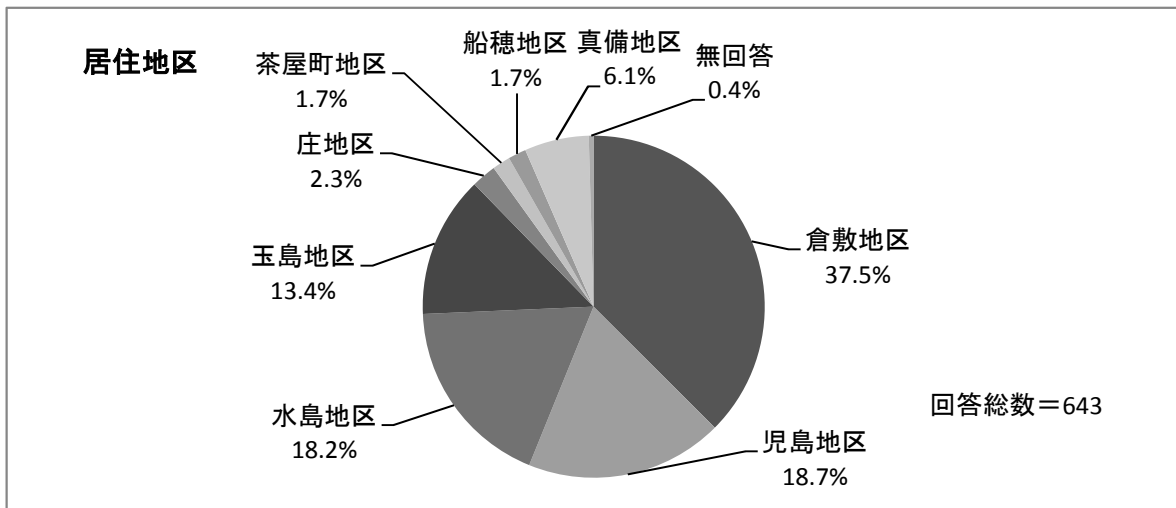
あなたが現在一緒に住んでいる家族構成についてお尋ねします。【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	本人のみ	13	2.0%
(2)	夫婦のみ	218	33.9%
(3)	親と子の2世代	255	39.7%
(4)	親と子と孫の3世代	138	21.5%
(5)	その他	15	2.3%
	無回答	4	0.6%
	計	643	100.0%



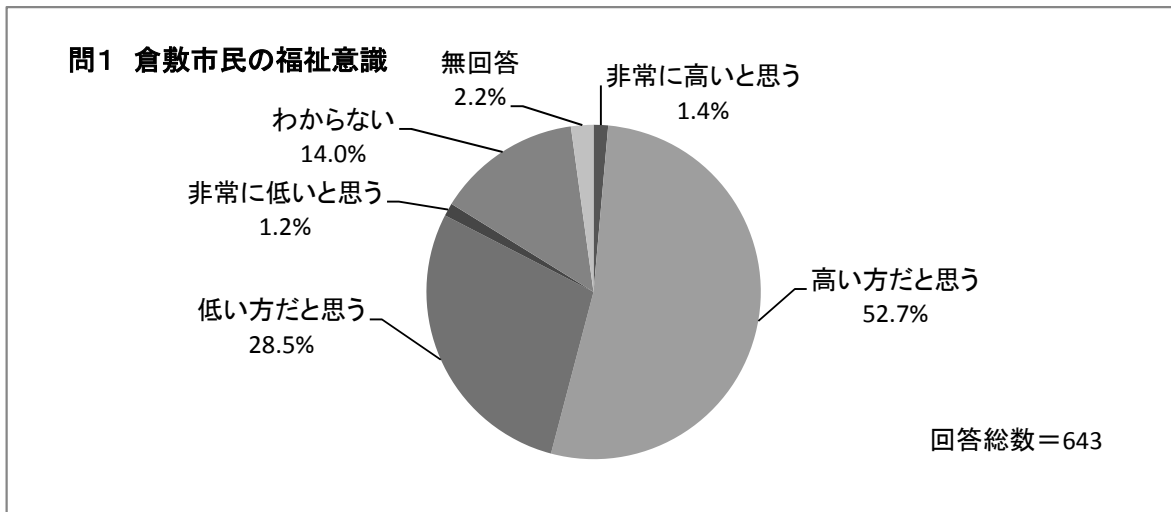
あなたの居住地区をお尋ねします。【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	倉敷地区	241	37.5%
(2)	児島地区	120	18.7%
(3)	水島地区	117	18.2%
(4)	玉島地区	86	13.4%
(5)	庄地区	15	2.3%
(6)	茶屋町地区	11	1.7%
(7)	船穂地区	11	1.7%
(8)	真備地区	39	6.1%
	無回答	3	0.4%
	計	643	100.0%



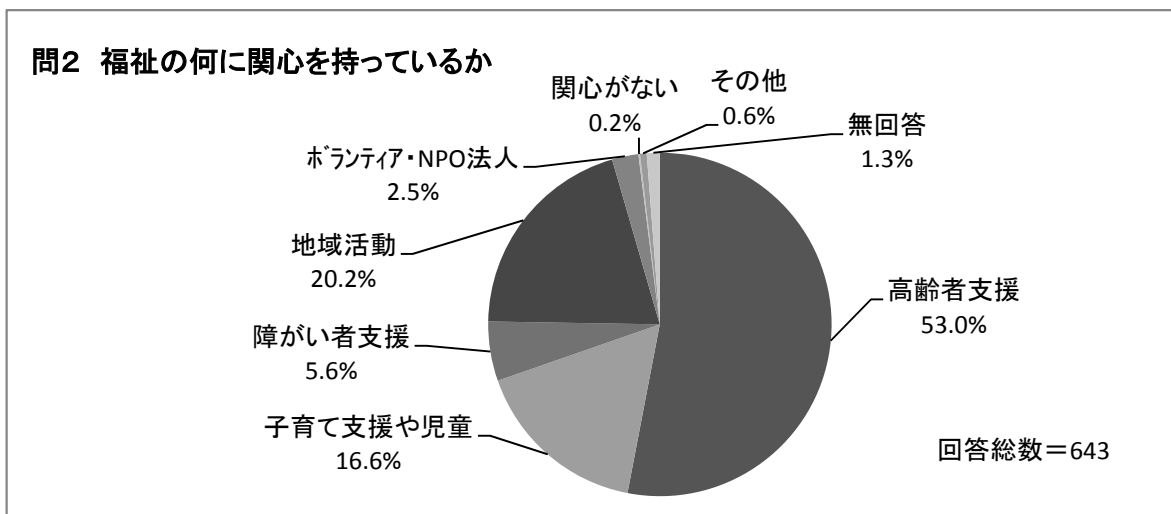
問1 倉敷市民の「福祉意識」は高いと思いますか？【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	非常に高いと思う	9	1.4%
(2)	高い方だと思う	339	52.7%
(3)	低い方だと思う	183	28.5%
(4)	非常に低いと思う	8	1.2%
(5)	わからない	90	14.0%
	無回答	14	2.2%
	計	643	100.0%



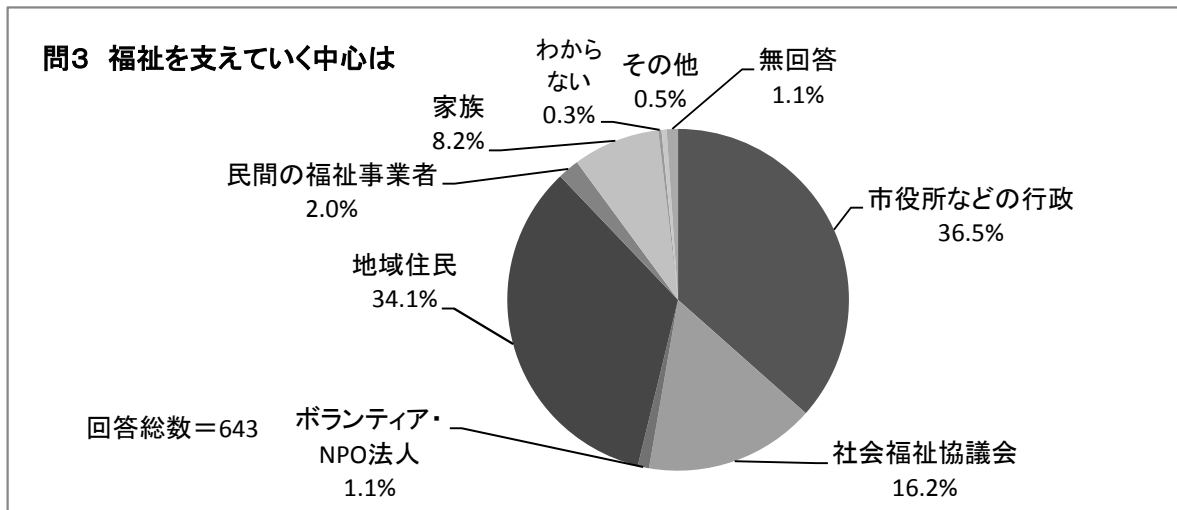
問2 あなたは、特に『福祉』の何に関心を持っていますか？【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	高齢者支援に関すること	341	53.0%
(2)	子育て支援や児童に関すること	107	16.6%
(3)	障がい者支援に関すること	36	5.6%
(4)	地域活動に関すること	130	20.2%
(5)	ボランティア・NPO法人の活動	16	2.5%
(6)	関心がない	1	0.2%
(7)	その他	4	0.6%
	無回答	8	1.3%
	計	643	100.0%



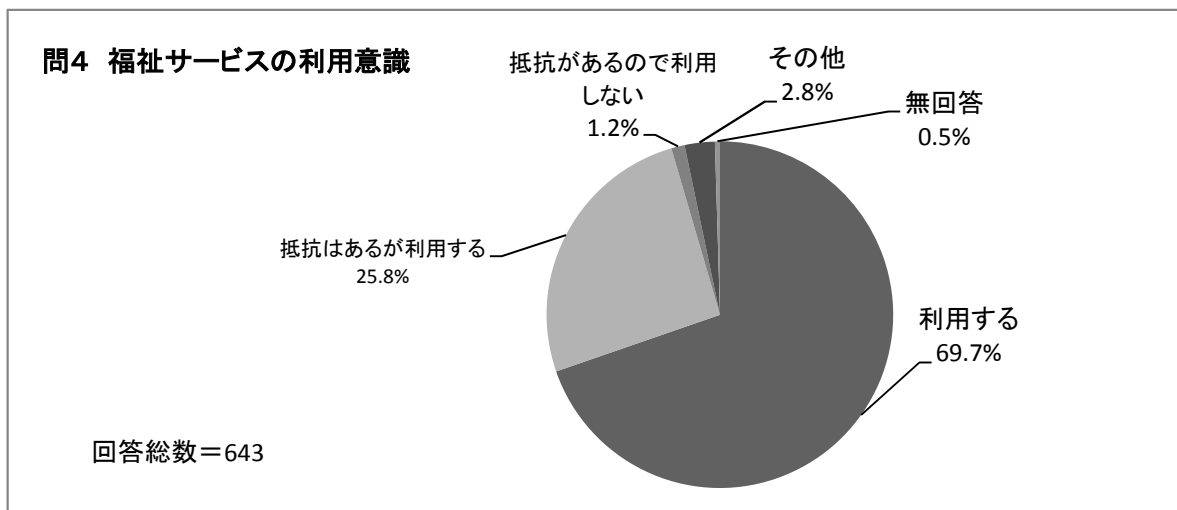
問3 あなたは、『福祉』を支えていく中心となるのは誰(どこ)だと思いますか？【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	市役所などの行政	235	36.5%
(2)	社会福祉協議会	104	16.2%
(3)	ボランティア・NPO法人	7	1.1%
(4)	地域住民	219	34.1%
(5)	民間の福祉事業者	13	2.0%
(6)	家族	53	8.2%
(7)	わからない	2	0.3%
(8)	その他	3	0.5%
	無回答	7	1.1%
	計	643	100.0%



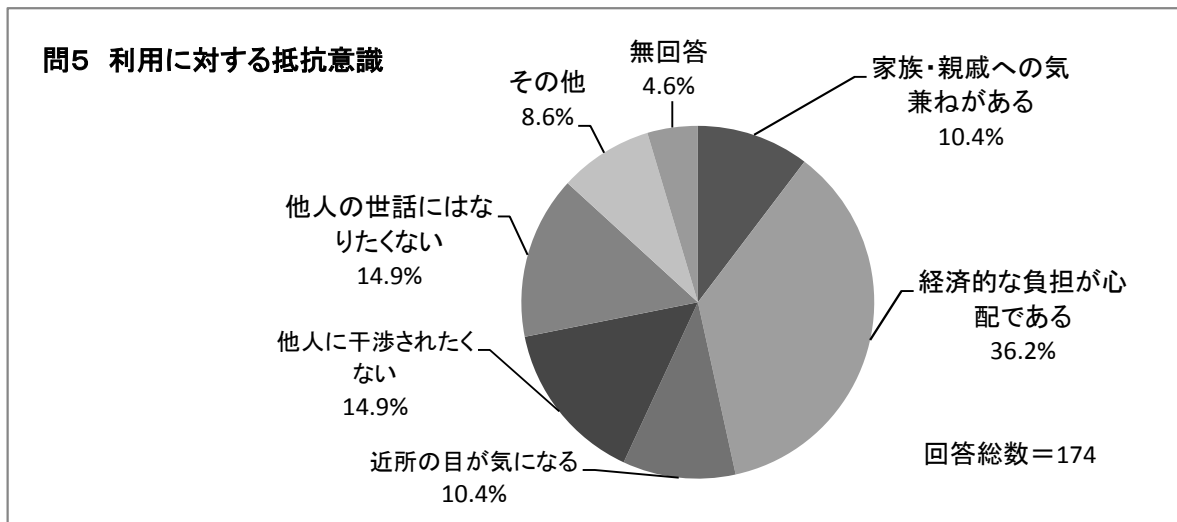
問4 あなた自身やあなたの家族に福祉サービスが必要になった時、すぐにサービスを利用しますか？【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	利用する	448	69.7%
(2)	抵抗はあるが利用する	166	25.8%
(3)	抵抗があるので利用しない	8	1.2%
(4)	その他	18	2.8%
	無回答	3	0.5%
	計	643	100.0%



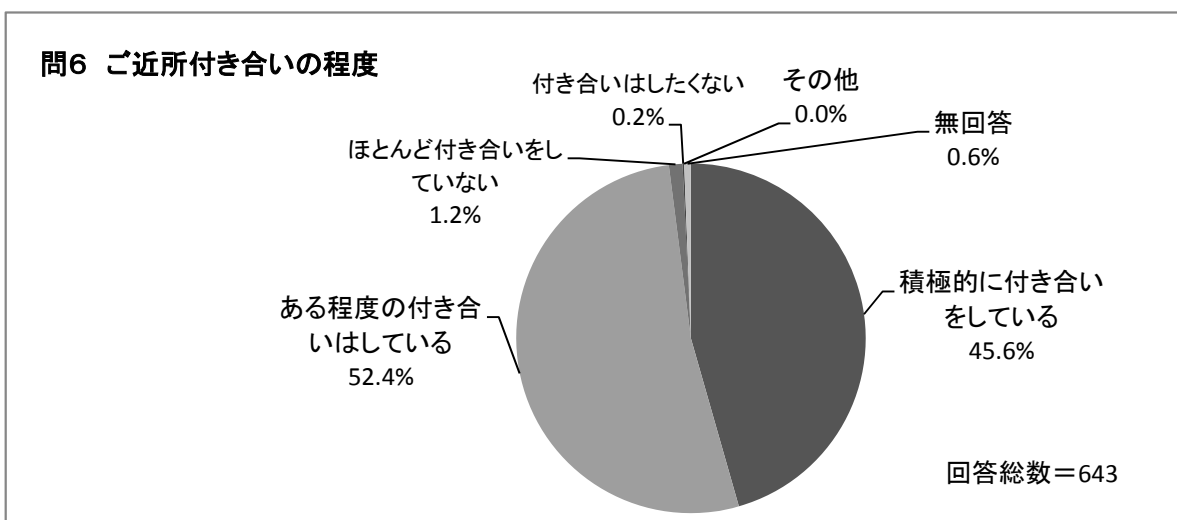
問5 問4で「抵抗がある」と答えた方にお尋ねします。どのような抵抗がありますか？【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	家族・親戚への気兼ねがある	18	10.4%
(2)	経済的な負担が心配である	63	36.2%
(3)	近所の目が気になる	18	10.4%
(4)	他人に干渉されたくない	26	14.9%
(5)	他人の世話にはなりたくない	26	14.9%
(6)	その他	15	8.6%
	無回答	8	4.6%
	計	174	100.0%



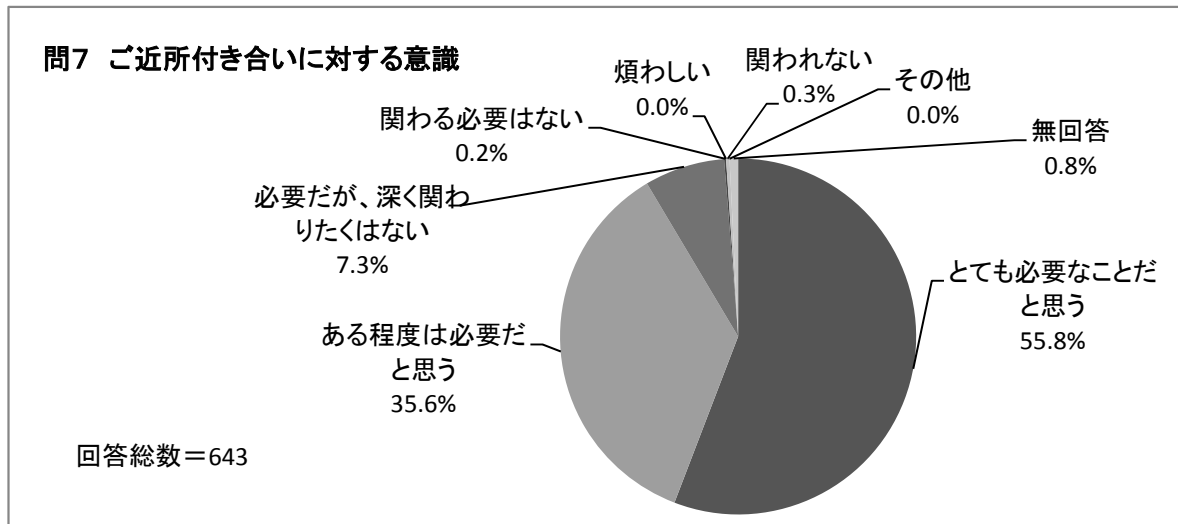
問6 あなたは、現在どの程度ご近所付き合いをされていますか？【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	積極的に付き合いをしている	293	45.6%
(2)	ある程度の付き合いはしている	337	52.4%
(3)	ほとんど付き合いをしていない	8	1.2%
(4)	付き合いはしたくない	1	0.2%
(5)	その他	0	0.0%
	無回答	4	0.6%
	計	643	100.0%



問7 あなたは、ご近所付き合いについて、どのように思いますか？【回答は1つだけ】

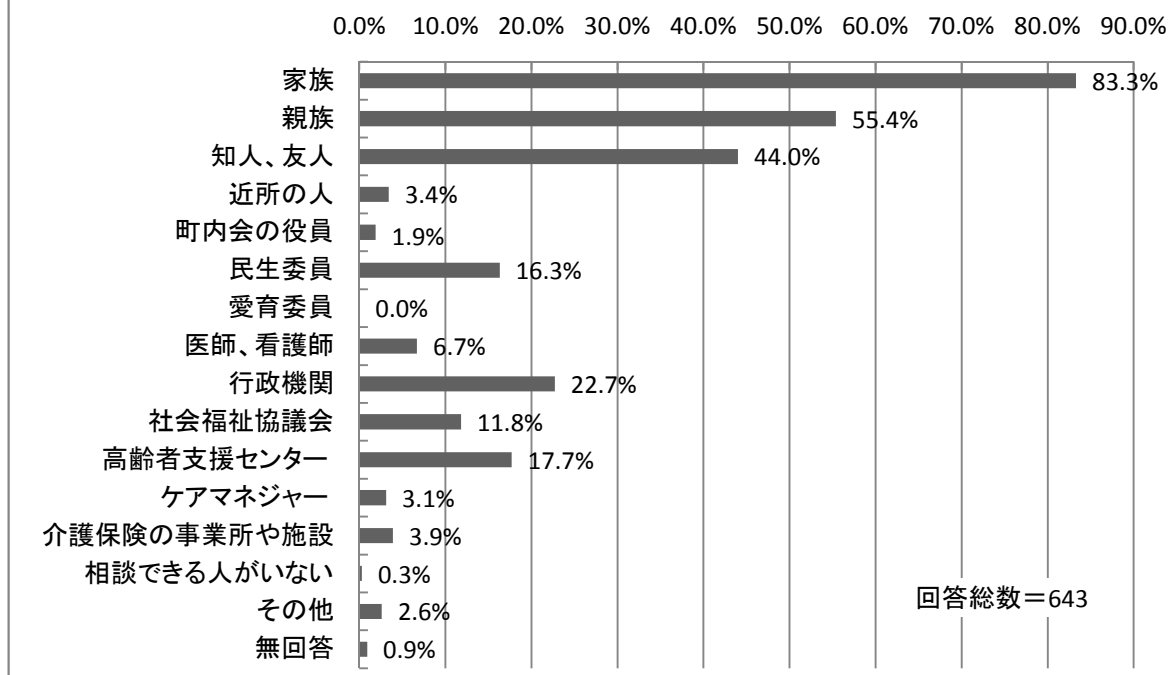
		回答数	構成比
(1)	とても必要なことだと思う	359	55.8%
(2)	ある程度は必要だと思う	229	35.6%
(3)	必要だが、深く関わりたくはない	47	7.3%
(4)	全く関わる必要はない	1	0.2%
(5)	煩わしい	0	0.0%
(6)	関わりたいが関われない	2	0.3%
(7)	その他	0	0.0%
	無回答	5	0.8%
	計	643	100.0%



問8 あなたが生活上の悩みを抱えたとき、誰(どこ)に相談しますか？【回答は3つ】

		回答数	構成比
(1)	家族	536	83.3%
(2)	親族	356	55.4%
(3)	知人、友人	283	44.0%
(4)	近所の人	22	3.4%
(5)	町内会の役員	12	1.9%
(6)	民生委員	105	16.3%
(7)	愛育委員	0	0.0%
(8)	医師、看護師	43	6.7%
(9)	行政機関	146	22.7%
(10)	社会福祉協議会	76	11.8%
(11)	高齢者支援センター	114	17.7%
(12)	ケアマネジャー	20	3.1%
(13)	介護保険の事業所や施設	25	3.9%
(14)	相談できる人がいない	2	0.3%
(15)	その他	17	2.6%
	無回答	6	0.9%

### 問8 悩みを抱えたときの相談先

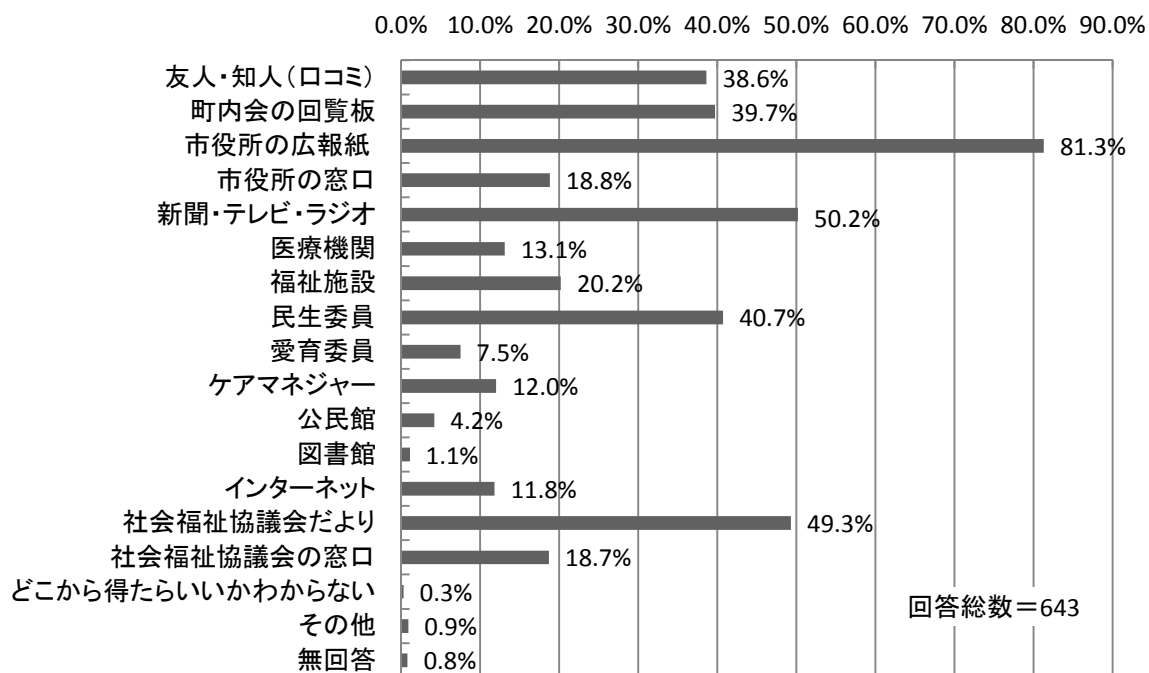


### 問9 あなたは、『福祉の情報』を主に誰(どこ)から得ていますか？【回答はあてはまるもの全て】

		回答数	構成比
(1)	友人・知人（口コミ）	248	38.6%
(2)	町内会の回覧板	255	39.7%
(3)	市役所の広報紙	523	81.3%
(4)	市役所の窓口	121	18.8%
(5)	新聞・テレビ・ラジオ	323	50.2%
(6)	医療機関	84	13.1%
(7)	福祉施設	130	20.2%
(8)	民生委員	262	40.7%
(9)	愛育委員	48	7.5%
(10)	ケアマネジャー	77	12.0%
(11)	公民館	27	4.2%
(12)	図書館	7	1.1%
(13)	インターネット	76	11.8%
(14)	社会福祉協議会だより	317	49.3%
(15)	社会福祉協議会の窓口	120	18.7%
(16)	どこから得たらいいかわからない	2	0.3%
(17)	その他	6	0.9%
	無回答	5	0.8%



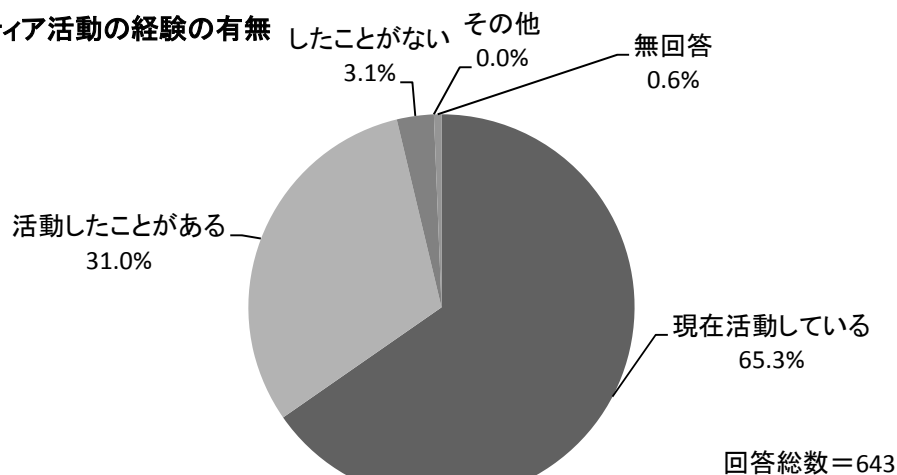
### 問9 福祉の情報の収集方法



### 問10 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか？【回答は1つだけ】

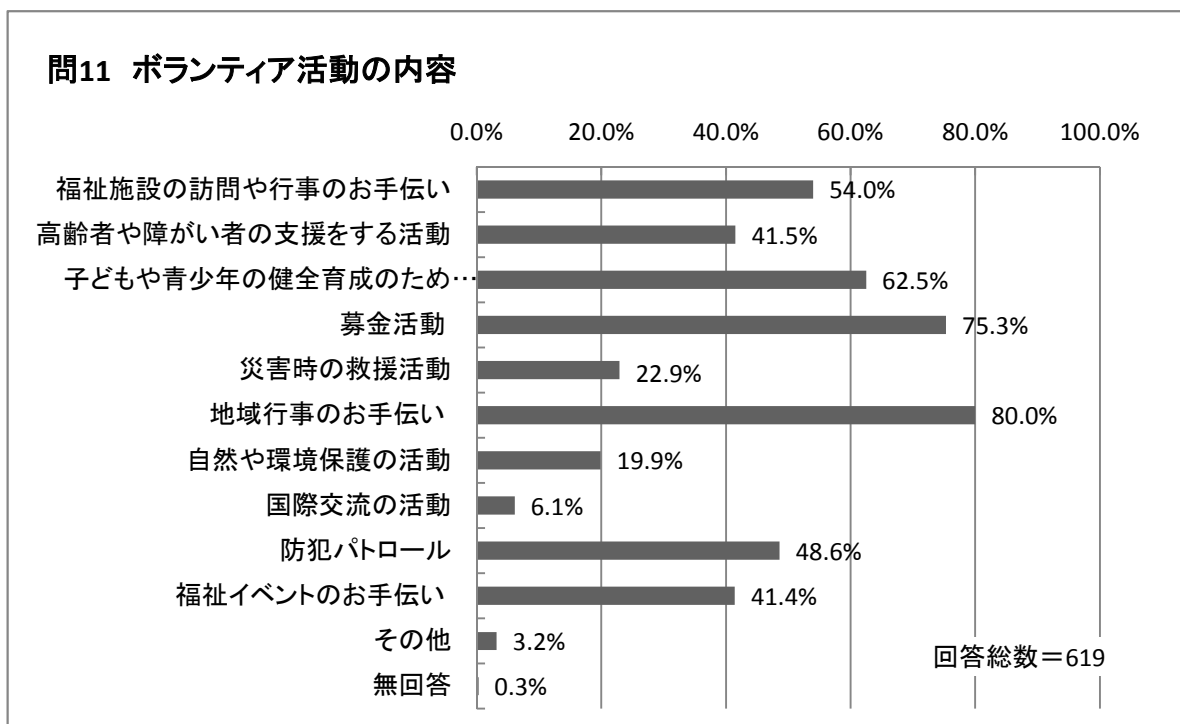
回答内容	回答数	構成比
(1) 現在活動している	420	65.3%
(2) 活動したことがある	199	31.0%
(3) したことがない	20	3.1%
(4) その他	0	0.0%
無回答	4	0.6%
計	643	100.0%

### 問10 ボランティア活動の経験の有無



問11 問10で「活動している」「したことがある」と答えた方にお尋ねします。  
 今までにどんなボランティア活動に参加しましたか？【回答はあてはまるもの全て】

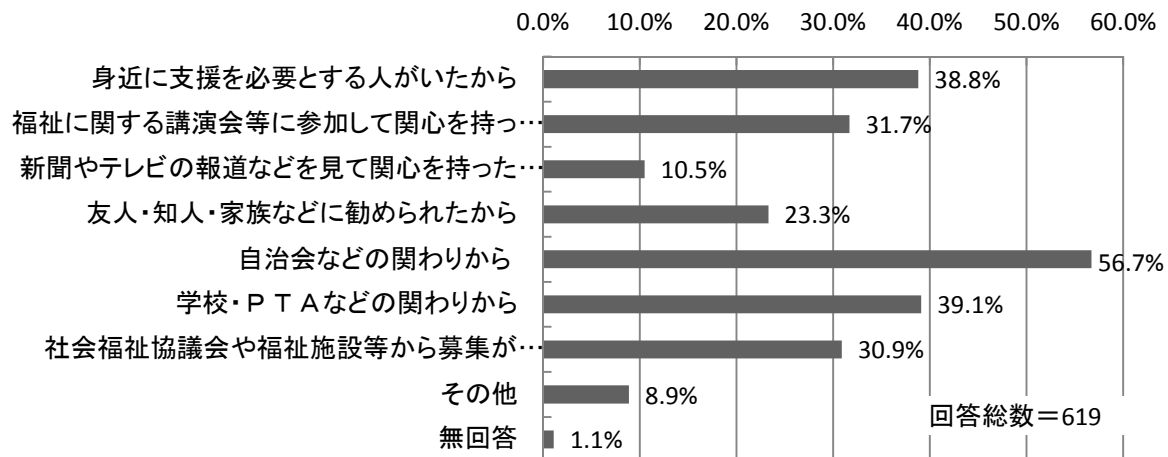
		回答数	構成比
(1)	福祉施設の訪問や行事のお手伝い	334	54.0%
(2)	高齢者や障がい者の支援をする活動	257	41.5%
(3)	子どもや青少年の健全育成のための活動	387	62.5%
(4)	募金活動	466	75.3%
(5)	災害時の救援活動	142	22.9%
(6)	地域行事のお手伝い	495	80.0%
(7)	自然や環境保護の活動	123	19.9%
(8)	国際交流の活動	38	6.1%
(9)	防犯パトロール	301	48.6%
(10)	福祉イベントのお手伝い	256	41.4%
(11)	その他	20	3.2%
	無回答	2	0.3%



問12 問10で「活動している」「したことはある」と答えた方にお尋ねします。  
 ボランティア活動に参加しようと思った動機はなんですか？【回答はあてはまるもの全て】

		回答数	構成比
(1)	身近に支援を必要とする人がいたから	240	38.8%
(2)	福祉に関する講演会等に参加して関心を持ったから	196	31.7%
(3)	新聞やテレビの報道などを見て関心を持ったから	65	10.5%
(4)	友人・知人・家族などに勧められたから	144	23.3%
(5)	自治会などの関わりから	351	56.7%
(6)	学校・PTAなどの関わりから	242	39.1%
(7)	社会福祉協議会や福祉施設等から募集があったから	191	30.9%
(8)	その他	55	8.9%
	無回答	7	1.1%

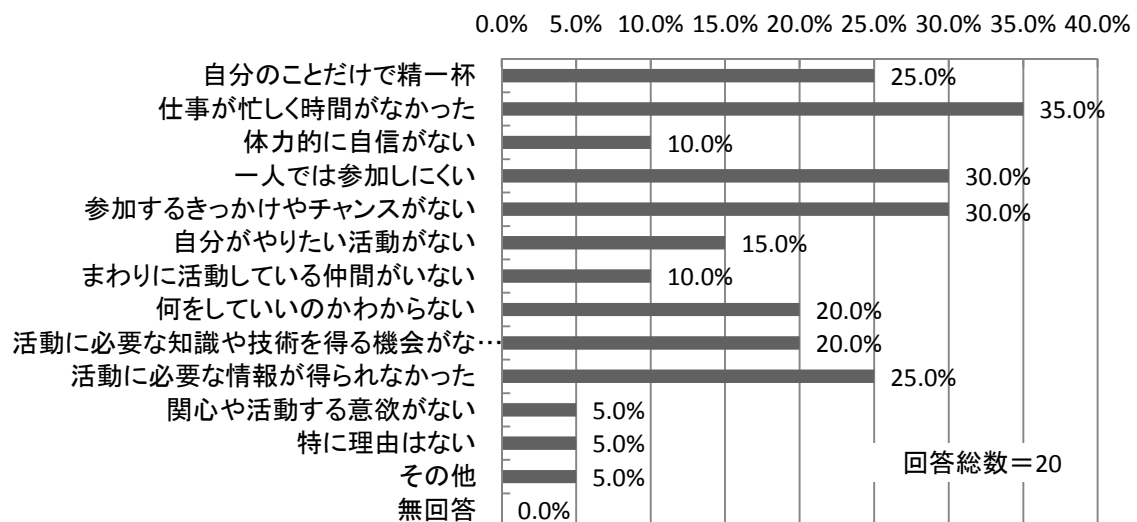
### 問12 ボランティア活動に参加した動機



問13 問10で「したことがない」と答えた方にお尋ねします。  
特にボランティア活動をしたことがない理由は何ですか？【回答は3つ】

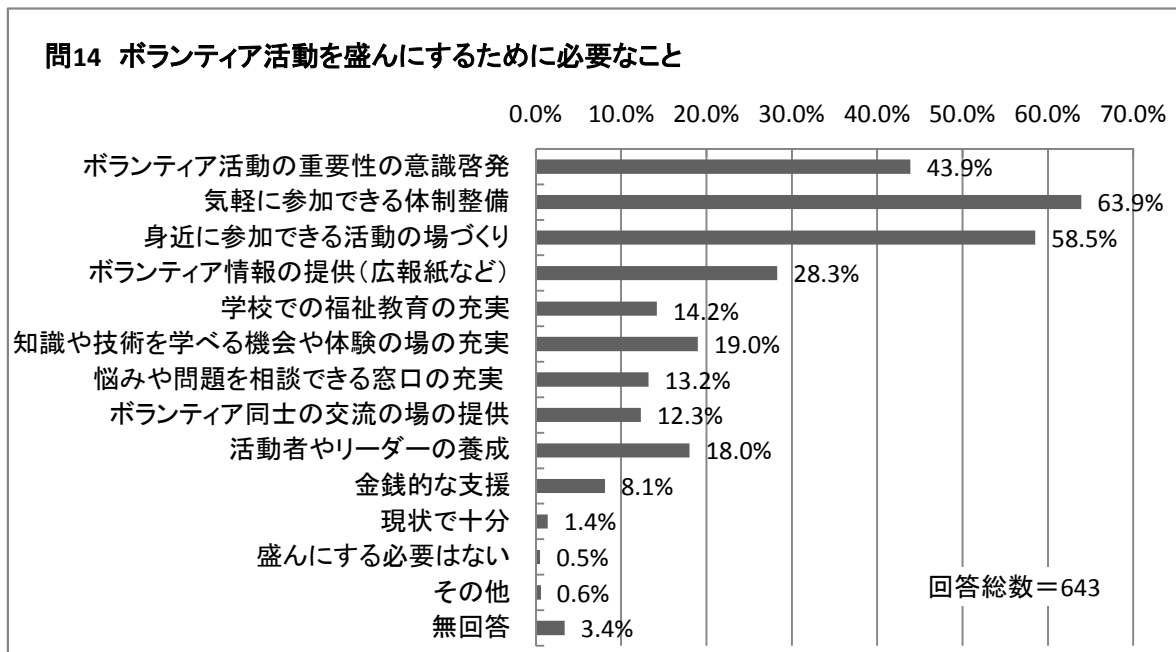
理由	回答数	構成比
(1) 自分のことだけで精一杯	5	25.0%
(2) 仕事が忙しく時間がなかった	7	35.0%
(3) 体力的に自信がない	2	10.0%
(4) 一人では参加しにくい	6	30.0%
(5) 参加するきっかけやチャンスがない	6	30.0%
(6) 自分がやりたい活動がない	3	15.0%
(7) まわりに活動している仲間がいない	2	10.0%
(8) 何をしたいのかわからない	4	20.0%
(9) 活動に必要な知識や技術を得る機会がなかった	4	20.0%
(10) 活動に必要な情報が得られなかった	5	25.0%
(11) 関心や活動する意欲がない	1	5.0%
(12) 特に理由はない	1	5.0%
(13) その他	1	5.0%
無回答	0	0.0%

### 問13 ボランティア活動をしたことがない理由



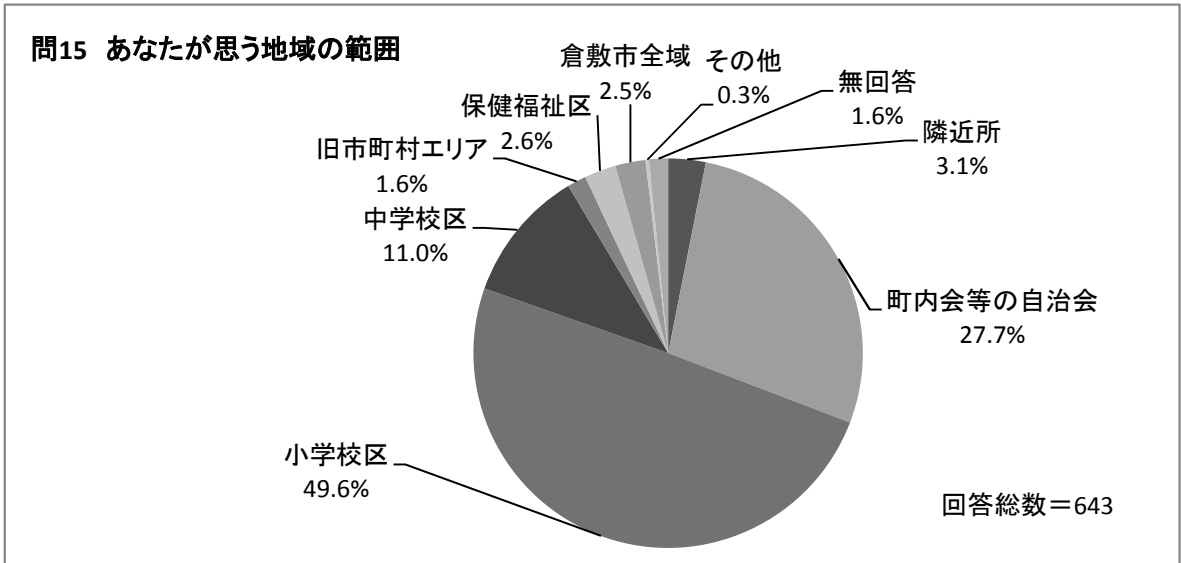
問14 あなたは、今後、市民のボランティア活動を盛んにするために、特に必要だと思うことは何ですか？  
【回答は3つ】

		回答数	構成比
(1)	ボランティア活動の重要性の意識啓発	282	43.9%
(2)	気軽に参加できる体制整備	411	63.9%
(3)	身近に参加できる活動の場づくり	376	58.5%
(4)	ボランティア情報の提供（広報紙など）	182	28.3%
(5)	学校での福祉教育の充実	91	14.2%
(6)	知識や技術を学べる機会や体験の場の充実	122	19.0%
(7)	悩みや問題を相談できる窓口の充実	85	13.2%
(8)	ボランティア同士の交流の場の提供	79	12.3%
(9)	活動者やリーダーの養成	116	18.0%
(10)	金銭的な支援	52	8.1%
(11)	現状で十分	9	1.4%
(12)	盛んにする必要はない	3	0.5%
(13)	その他	4	0.6%
	無回答	22	3.4%



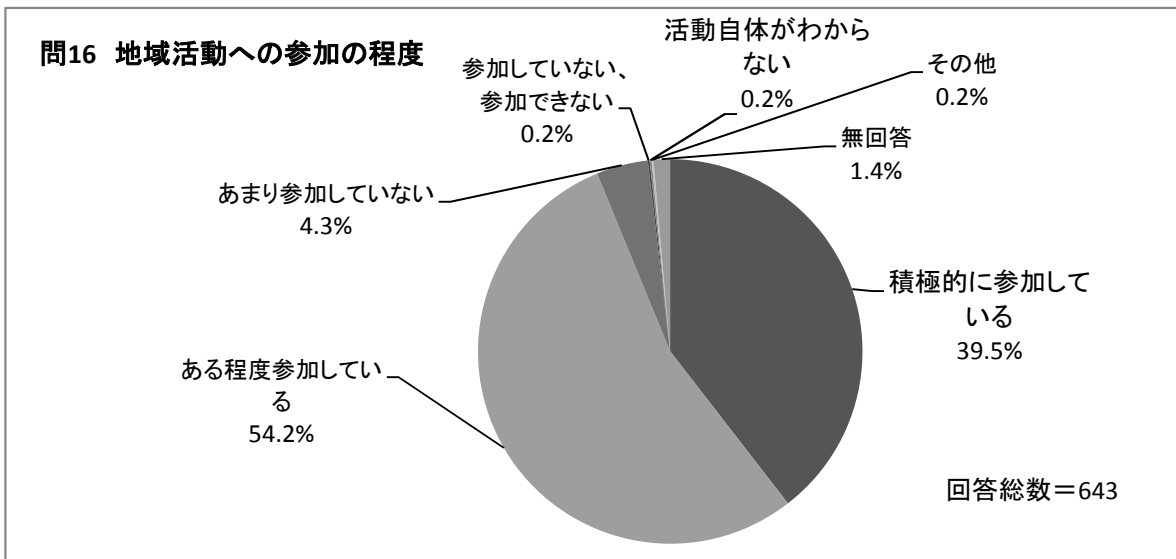
問15 あなたは、『地域』とはどの程度の範囲のことだと思いますか？【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	隣近所	20	3.1%
(2)	町内会等の自治会	178	27.7%
(3)	小学校区	319	49.6%
(4)	中学校区	71	11.0%
(5)	旧市町村エリア	10	1.6%
(6)	保健福祉区（倉敷、水島、児島、玉島など）	17	2.6%
(7)	倉敷市全域	16	2.5%
(8)	その他	2	0.3%
	無回答	10	1.6%
	計	643	100.0%



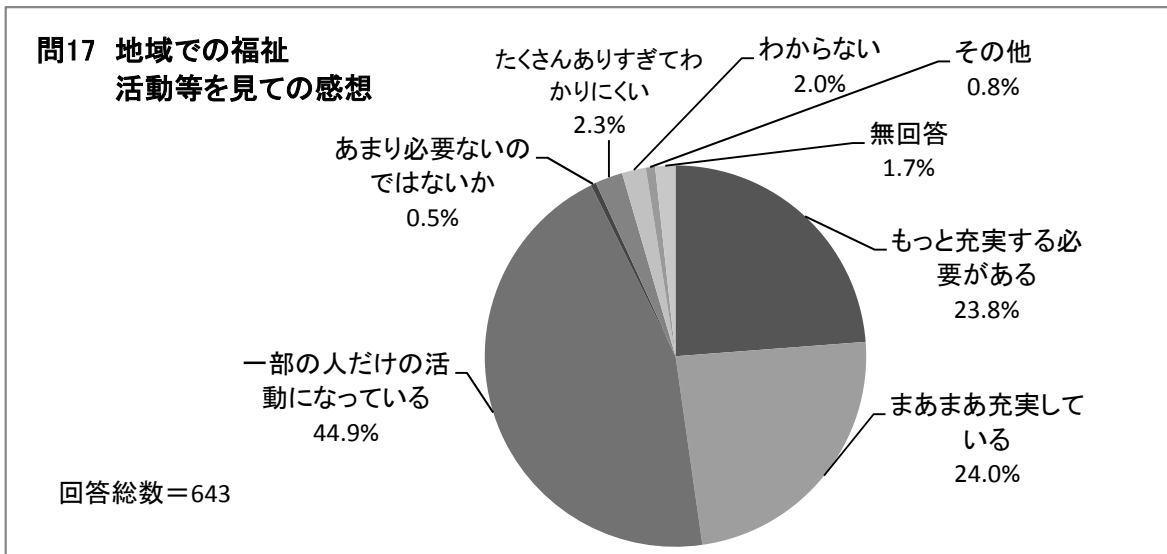
問16 あなたは、『地域』の活動にどの程度参加されていますか？【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	積極的に参加している	254	39.5%
(2)	ある程度参加している	349	54.2%
(3)	あまり参加していない	28	4.3%
(4)	参加していない、参加できない	1	0.2%
(5)	活動自体がわからない	1	0.2%
(6)	その他	1	0.2%
	無回答	9	1.4%
	計	643	100.0%



問17 あなたは、地域での福祉活動等を見てどのように思われていますか？【回答は1つだけ】

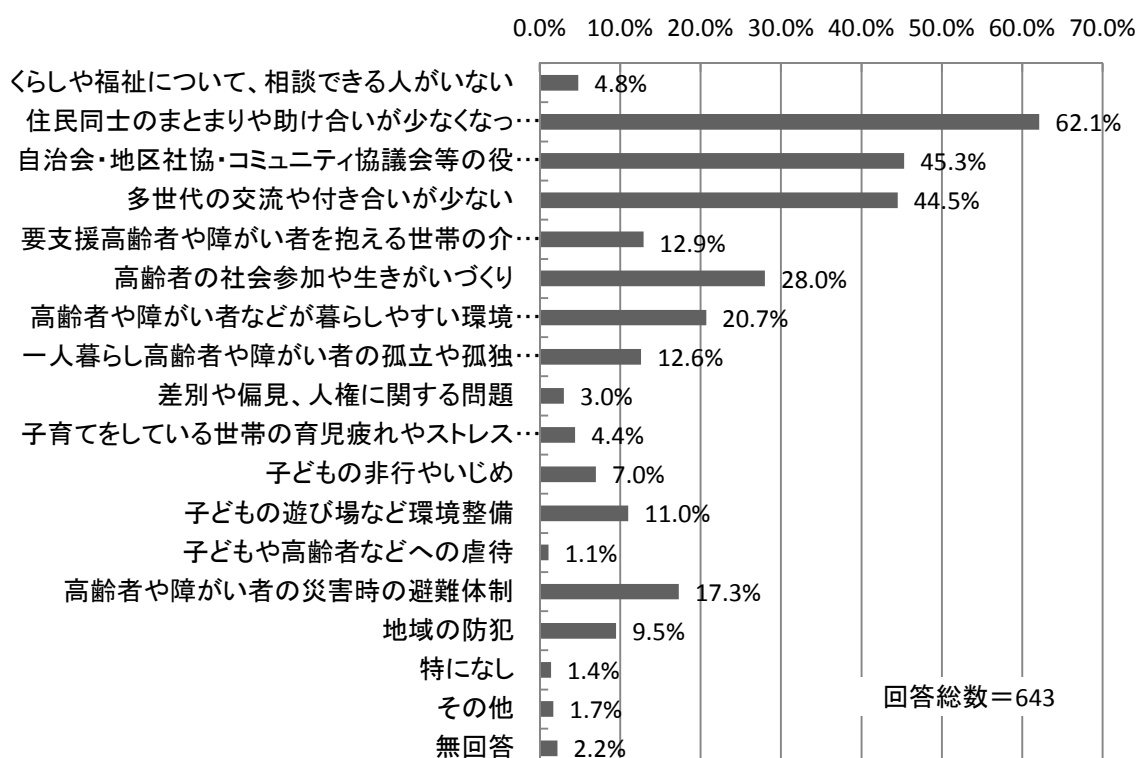
		回答数	構成比
(1)	もっと充実する必要がある	153	23.8%
(2)	まあまあ充実している	154	24.0%
(3)	一部の人だけの活動になっている	289	44.9%
(4)	あまり必要ないのではないか	3	0.5%
(5)	たくさんありすぎてわかりにくい	15	2.3%
(6)	わからない	13	2.0%
(7)	その他	5	0.8%
	無回答	11	1.7%
	計	643	100.0%



問18 あなたは、『地域』には、特にどのような課題や問題があると感じていますか？【回答は3つ】

		回答数	構成比
(1)	くらしや福祉について、相談できる人がいない	31	4.8%
(2)	住民同士のまとまりや助け合いが少なくなっている	399	62.1%
(3)	自治会・地区社協・コミュニティ協議会等の役員のなり手、担い手が少ない	291	45.3%
(4)	多世代の交流や付き合いが少ない	286	44.5%
(5)	要支援高齢者や障がい者を抱える世帯の介護疲れやストレスの問題	83	12.9%
(6)	高齢者の社会参加や生きがいづくり	180	28.0%
(7)	高齢者や障がい者などが暮らしやすい環境の整備	133	20.7%
(8)	一人暮らし高齢者や障がい者の孤立や孤独死の問題	81	12.6%
(9)	差別や偏見、人権に関する問題	19	3.0%
(10)	子育てをしている世帯の育児疲れやストレスの問題	28	4.4%
(11)	子どもの非行やいじめ	45	7.0%
(12)	子どもの遊び場など環境整備	71	11.0%
(13)	子どもや高齢者などへの虐待	7	1.1%
(14)	高齢者や障がい者の災害時の避難体制	111	17.3%
(15)	地域の防犯	61	9.5%
(16)	特になし	9	1.4%
(17)	その他	11	1.7%
	無回答	14	2.2%

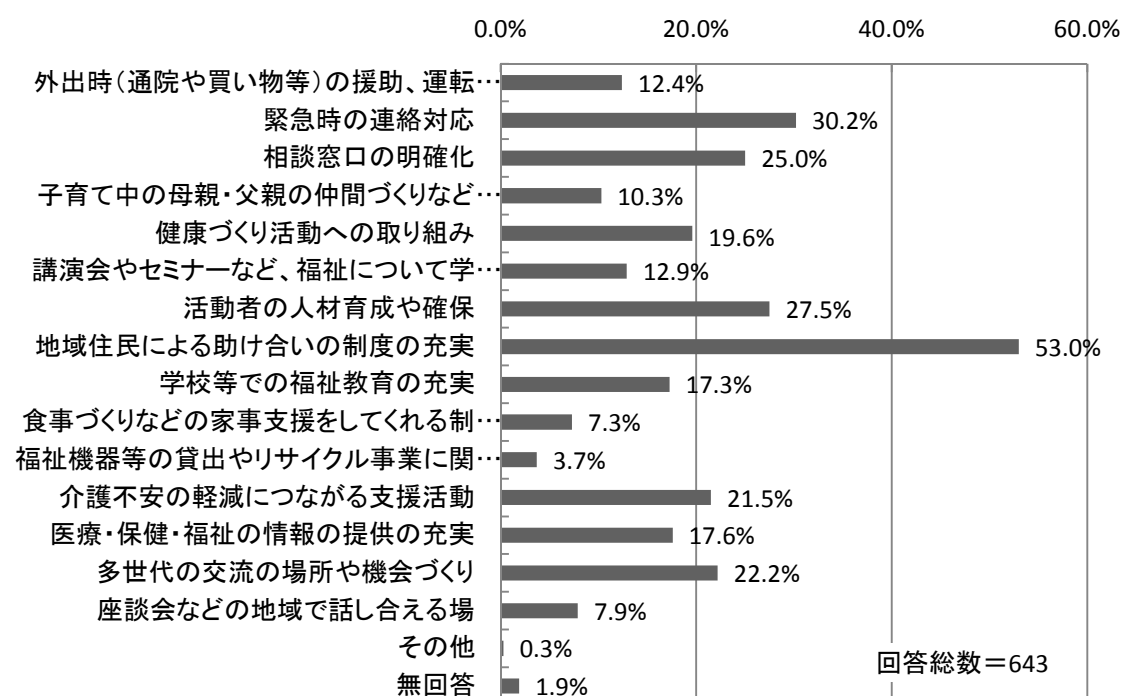
### 問18 地域にはどのような課題や問題があるか



### 問19 あなたは、今後『地域』で特にどのような活動に取り組んで欲しいと思いますか？【回答は3つ】

		回答数	構成比
(1)	外出時（通院や買い物等）の援助、運転ボランティアなど	80	12.4%
(2)	緊急時の連絡対応	194	30.2%
(3)	相談窓口の明確化	161	25.0%
(4)	子育て中の母親・父親の仲間づくりなどの活動の場の充実	66	10.3%
(5)	健康づくり活動への取り組み	126	19.6%
(6)	講演会やセミナーなど、福祉について学ぶ機会づくり	83	12.9%
(7)	活動者の人材育成や確保	177	27.5%
(8)	地域住民による助け合いの制度の充実	341	53.0%
(9)	学校等での福祉教育の充実	111	17.3%
(10)	食事づくりなどの家事支援をしてくれる制度やサービス	47	7.3%
(11)	福祉機器等の貸出やリサイクル事業に関するサービスの充実	24	3.7%
(12)	介護不安の軽減につながる支援活動	138	21.5%
(13)	医療・保健・福祉の情報の提供の充実	113	17.6%
(14)	多世代の交流の場所や機会づくり	143	22.2%
(15)	座談会などの地域で話し合える場	51	7.9%
(16)	その他	2	0.3%
	無回答	12	1.9%

### 問19 地域で今後取り組んで欲しい活動



問20 だれもが安心して暮らすことができるまちづくりを進めるためにはどのようにしたら良いですか？

【自由記述は別紙参照】

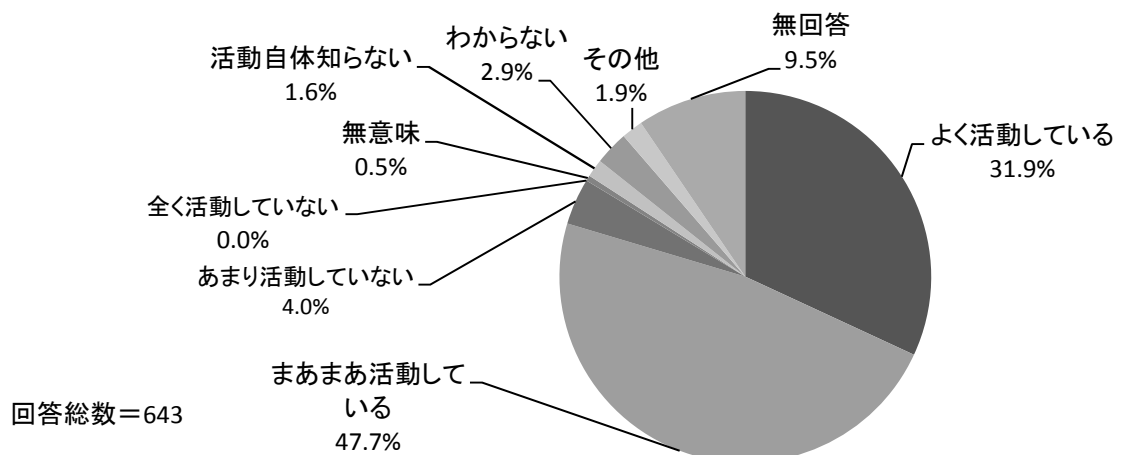
		回答数	構成比
(1)	記述有り	257	40.0%
	無回答	386	60.0%
	計	643	100.0%

問21 あなたは、倉敷市社会福祉協議会の事業や活動についてどのように思われますか？【回答は1つだけ】

		回答数	構成比
(1)	よく活動している	205	31.9%
(2)	まあまあ活動している	307	47.7%
(3)	あまり活動していない	26	4.0%
(4)	全く活動していない	0	0.0%
(5)	無意味	3	0.5%
(6)	活動自体知らない	10	1.6%
(7)	わからない	19	2.9%
(8)	その他	12	1.9%
	無回答	61	9.5%
	計	643	100.0%



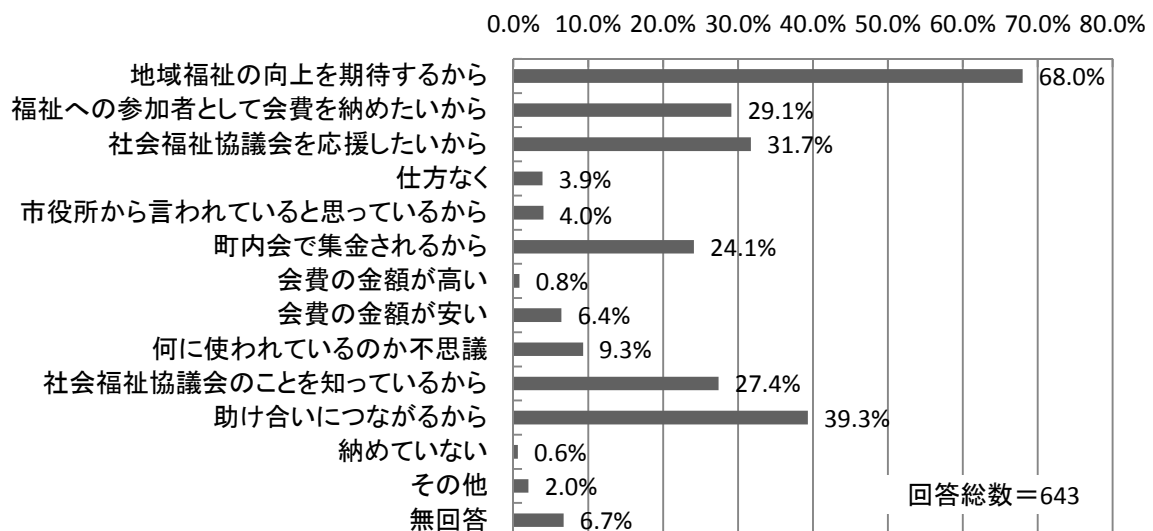
問21 社会福祉協議会の事業や活動について



問22 倉敷市社会福祉協議会会費についてどのような『思い』がありますか？【回答はあてはまるもの全て】

	回答数	構成比
(1) 地域福祉の向上を期待するから	437	68.0%
(2) 福祉への参加者として会費を納めたいから	187	29.1%
(3) 社会福祉協議会を応援したいから	204	31.7%
(4) 仕方なく	25	3.9%
(5) 市役所から言われていると思っているから	26	4.0%
(6) 町内会で集金されるから	155	24.1%
(7) 会費の金額が高い	5	0.8%
(8) 会費の金額が安い	41	6.4%
(9) 何に使われているのか不思議	60	9.3%
(10) 社会福祉協議会のことを知っているから	176	27.4%
(11) 助け合いにつながるから	253	39.3%
(12) 納めていない	4	0.6%
(13) その他	13	2.0%
無回答	43	6.7%

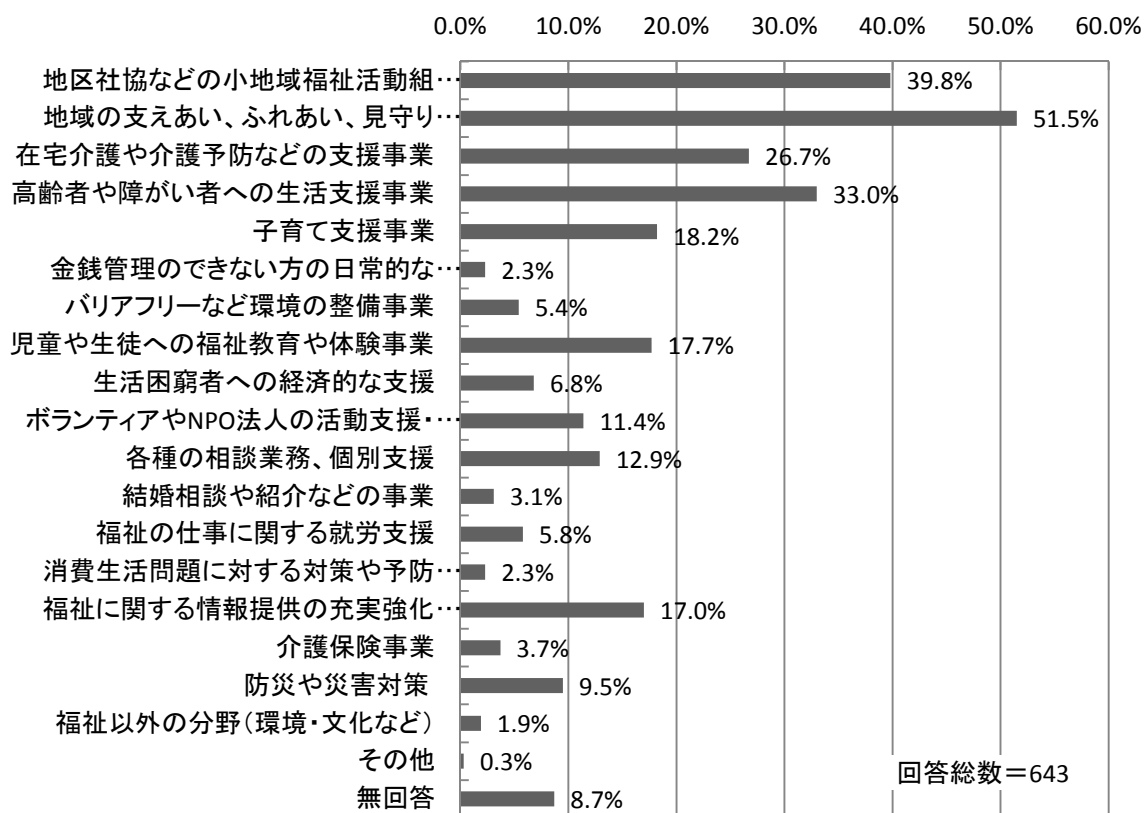
問22 社会福祉協議会会費についての思い



問23 あなたは、倉敷市社会福祉協議会が積極的に取り組むべきことは何だと思いますか？【回答は3つ】

		回答数	構成比
(1)	地区社協などの小地域福祉活動組織の設置、充実強化	256	39.8%
(2)	地域の支えあい、ふれあい、見守り活動	331	51.5%
(3)	在宅介護や介護予防などの支援事業	172	26.7%
(4)	高齢者や障がい者への生活支援事業	212	33.0%
(5)	子育て支援事業	117	18.2%
(6)	金銭管理のできない方の日常的な金銭管理支援	15	2.3%
(7)	バリアフリーなど環境の整備事業	35	5.4%
(8)	児童や生徒への福祉教育や体験事業	114	17.7%
(9)	生活困窮者への経済的な支援	44	6.8%
(10)	ボランティアやNPO法人の活動支援・育成	73	11.4%
(11)	各種の相談業務、個別支援	83	12.9%
(12)	結婚相談や紹介などの事業	20	3.1%
(13)	福祉の仕事に関する就労支援	37	5.8%
(14)	消費生活問題に対する対策や予防活動	15	2.3%
(15)	福祉に関する情報提供の充実強化（インターネットを含む）	109	17.0%
(16)	介護保険事業	24	3.7%
(17)	防災や災害対策	61	9.5%
(18)	福祉以外の分野（環境・文化など）	12	1.9%
(19)	その他	2	0.3%
	無回答	56	8.7%

問23 社会福祉協議会が積極的に取り組むべきこと



## ○ 地域福祉活動計画 アンケート調査 問20 自由記述のまとめ<民生委員児童委員>

### ○意識啓発について

講演会やセミナー等少人数で聞き、その後話し合える様な機会を作ることが必要である。

福祉教育を充実させ、困った時、誰に尋ねても親切に教えてもらえる環境を作してほしい。

福祉活動の重要性の意識啓発が必要である。

地域にある施設をもっと活用して、高齢者の在宅福祉や学校での福祉教育を充実させてほしい。

幼児期から地域福祉に対する意識改革をする必要がある。

「地域福祉」という言葉がわかるようでわかりません。

町内会組織をもっと活用し福祉意識を高める必要がある。

社会の弱い立場にいる人達に自然に手をさしのべることができるような人間になるようあらゆる場面を通じて子供の頃から育てていくような取り組みが必要である。

### ○近所づきあい・交流について

昔のような”向こう三軒両隣”の助けあえる組織作りが必要である。

これからの地域防災や地域福祉は、何でもお上がしてくれるという発想をかえ、自分達の力で何とかするという気構えが必要である。

ごく小さいグループ2・3人で何かあれば助け合い又連絡を取り合いその人のことが分かるようにしてほしい。

町内会の会員同士の助け合いも希薄化しており、まず町内会のまとまりを作っていくことがひつようである。

若者の世帯は町内会に入りたがらない。勝手気ままな生活で地域への協力性が少ない方が見られるのが問題である。

核家族化になって住民お互いの交流が少なく（出来なく）なって来ていることが問題である。

地域（町内会）活動を活発化し、住民の交流（多世代間・新転住者を含め）を盛んにする色々な行事・取り組みの工夫が必要である。

誰でも気軽に挨拶が出来る街をつくってほしい。

お年寄りや子育てのお母さん達への声かけ運動（近所の）が必要である。

高齢者の仲間づくり、いきがづくりが必要である。（家に一人にしておかないように）

### ○行政・社協について

社協とか市は、相談窓口を積極的に充実させてほしい。

社協や市は、誰もが困った時相談できる場所がわかるようにしてほしい。

独居している人達を定期的に見に行つて貰える支援センターの方々の充実を図ってほしい。

せっかく募金をしたのに少々の金額を返すのはおかしい。募金したお金は全て大事に使ってほしい。（活動費など）

市役所が直接、福祉（地域福祉）を重点施策にして、実施してほしい。

自治会、地区社協、コミュニティ協議会、NPOなどがどんなことをしているかわかっていない。市が中心になってもっと交流の機会や場所を持ってほしい。

行政が中心となり、地域住民の意識の高揚を図ってほしい。

社会福祉協議会の人を増やして、各地域に出向いて助言をしてほしい。

行政の窓口が多すぎて、どこに相談してよいか分かりにくい。横のつながりをよくしてほしい。

福祉の中心的な社協が自ら動くこと。ねむれる社協という評判が聞かれない様に市民の中に入って行動し、地域の人の活動に積極的に参加してほしい。

市社協が、各地区社協と一体化することが必要である。

市は何事においても、音頭取りをして、後は地区に押し付ける（？）任せてしまう事が多い。もっと地区に入って指導、助成金なども考えてほしい。

## ○交通・移動について

高齢者が一人で外出出来る（買物・遊・図書館）社会参加出来る公共交通機関（バス運行）が必要である。

買い物や通院が必要な人で定期的にグループでタクシー代わりのようなことが町内会単位でしてほしい。

生き生きサロンに出てきたくても足の確保ができない為、参加できない人もいる。月1回の事だけれど、楽しみにしている。遠方の人にも来られるような体制が必要である。

## ○広報活動について

福祉活動のPRや必要性をおこない、住民の参加意識向上を図る必要がある。（社協だより 2回/年は少ない）

福祉サービスを受ける事が出来る条件とは、どの様な状態になっている事なのかのPRをしてほしい。

いろいろな制度があっても、それを知らない人が多いので、知らせる必要がある。

他の地域や自治会の模範的な活動ぶり・参考になるような活動を市の広報などシリーズで紹介してほしい。

小地域にて各項目を設定し、その窓口を明確にし自治会等で紹介し全世界帯に回覧してほしい。

## ○情報について

個人情報保護で支えてあげたいと思っても、その情報が入ってこないことが問題である。

個人情報保護法をいいように利用され、一人暮らし高齢者、障がい者等の把握ができないことが問題である。

高齢者の情報は比較的早く知ることができるが、障がい者（特に若年障がい者）のことについては、情報の入手が大変困難であることが問題である。

今は要支援の（施設に行っている）方が多く昼間、家にいる方が少ないため情報が掴みにくくなっていることが問題である。

緊急時の連絡体制を充実し、地域住民が一人暮らし老人の状況を細かくつかみ地域内での情報を持って対応する必要がある。

200世帯担当している民生委員ですが、他地域の町内も担当している。情報がなかなか入りにくい。担当地域の中で協力委員がいるけれど、殆ど活動していない。地域の中で、情報が入りやすい交流会等が必要である。

## ○人材の育成・発掘について

地域における人材の育成と地域の輪を広げて、近隣の人と仲良くなるように指導する人材の育成が必要である。

民生委員、愛育委員などのなり手がいないことが問題である。

地域住民の把握がしにくいので、福祉員のような人がほしい。

もう少しサロンを活発にしていきたい。そのための人材等がほしい。

福祉活動・地域活動のできる活動者(参加者)の育成(募集)が必要である。

地域で動いている人は常に何人かに限られていて、集まるメンバーは顔ぶれがいつしよ。もっと人材の発掘をしてほしい。

## ○組織づくりについて

地区社会福祉協議会を作って、地区全体で福祉について勉強して活動出来る環境を作ることが必要である。

長い間続いているサロンには社協から補助金を出してほしい。

町内会等へ補助金を出し、町内会活動を活性化させる必要がある。

地域には愛育・民生・地区社協・コミュニティー協議会など活動を共にする組織が多く、住民はどこに話せばよいか迷ってしまう。統合できるものがあれば統合し強化してほしい。

小学校区の単位でコミュニティ活動を盛り上げ自助、共助、公助でお互いの意識を高める必要がある。

一番身近な町内会の役員たちが、まず、自分たちの町内の福祉の状況について話し合い、対策に取り組んでいくことが必要である。

地域で愛育・民生・学校教育・町内会等一緒に会合を開いてほしい。

地区社協の活動が少ない。活動費の利用にしても持てあましていると思う。もっともっと有効に利用し、活動してほしい。

## ○場づくりについて

住民の交流の場が少ない。サロン、公民館など気軽に集える場所が身近にあってほしい。

一人暮らしの方や高齢者の方が気軽に参加できるようなことをしてほしい。

福祉に限らず、環境・安全・子育てなど地域の人々が話し合う場所(集会所など)がないことが問題である。

地域住民の座談会での話し合いができる場所づくりが必要である。

小地域ケア会議等々を開いて地域の皆さんとの交流の場をつくり、人と人の人間関係を確立する必要がある。

## ○連携について

平素から近隣住民、町内会と話し合い、協力し合い、民生委員、高齢者支援センター、社会福祉協議会と気軽に相談できる体制づくりが大切である。

市役所、社会福祉協議会、民生委員、地区町内役員、地域住民が一体となって、連絡が速やかに出来る事が大切である。（地域からの相談等が少ない）。

地域ネットワークのわかりやすい系図がほしい。また、それぞれの福祉団体の役割・連絡先も明記されている表(図)がほしい。

地域の福祉関係者（民生委員・愛育委員・福祉協力員等々）と各町内役員との連携した活動とか組織づくりが必要である。

## ○ボランティア活動について

ボランティアとか言葉としては子供達もよく知っていると思いますが、あまり身近にない。もっと身の回りにボランティア体験が出来る事が大切である。

ボランティアとして活動してくれる人材の育成が必要である。

## ○防災・防犯について

いつ災害がおこるか分からないため、常より訓練をしたりして機会を作り、つながりをもっておく必要がある。

災害時における弱者への支援マニュアルを早急に作り、普段から住民が共通の認識を持つようにしておく必要がある。

地域の防犯パトロールの強化が必要である。

## ○医療について

医療費の軽減をしてほしい。

高齢者医療制度を充実してほしい。

## ○その他

一人住まいの高齢者に対する定期的な訪問確認活動を実施する制度が必要である。

精神障がい者への対応の仕方を教えてほしい。

幼少時からのあいさつ運動の推進が必要である。

高齢者への声かけ運動の推進が必要である。

困った人の相談窓口を地域に明示してほしい。もちろん広報くらしきがあるが、地域としてのイベントの際に窓口をおいてほしい。

今は個人としての活動が主だが、民生委員が組織化して、もっと地域住民のために活動する必要がある。

民生委員に負担が多く、これからは引き受け手がなくなるのでは民生委員組織も改革が必要である。